

(別紙4)

「薬物使用と生活に関する全国高校生調査 2018」の実施について

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部では、2018年10月1日から同年12月31日まで、「薬物使用と生活に関する全国高校生調査 2018」を実施します。

【研究の概要】

1. 対象者：全国の高等学校から無作為に選ばれた140の高等学校の1, 2, 3年(計100,000名)です。
2. 研究の意義と目的：高校生における喫煙・飲酒・薬物乱用の状況を横断的に把握すると共に、経年的変化をモニタリングすることで、青少年に対する薬物乱用防止対策の基礎資料に供します。具体的には、1)喫煙・飲酒・薬物乱用の実態について把握すること、2)薬物乱用の有害性に関する知識の周知状況を把握すること、3)薬物乱用経験を持つ生徒の特徴を明らかにすることを目的としています。
3. 研究方法：無記名(個人を特定しない)のアンケートを教室内で実施します。対象生徒のプライバシーを保護し、回答内容が他の生徒や教員に見られないように、調査実施にあたり2種類の封筒(個人用、クラス用)を配布します。回答後は、対象の生徒自らの手で個人用封筒(シール付き)を厳封し、厳封された個人用封筒をクラス用封筒に投函してから、クラス単位で回収します。調査実施後は、対象校の担当教員が調査レポート用紙に、在校生徒数(性別、学年別)や、アンケート実施日の欠席者数などを記載します。クラス単位で回収された調査用紙は調査レポートと共に、回収します。
4. 調査期間：2018年10月1日から同年12月31日(ただし、学校行事との兼ね合いで、二学期中の実施が難しい場合は、三学期中の実施も可能です)
5. 個人情報保護：この研究では、個人の特定につながる情報は一切扱いません。
6. 研究倫理指針：本研究は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、実施されます。また、調査実施にあたっては、国立精神・神経医療研究センター倫理委員会の承認を得ています。

【利用する情報の一般的な名称】 アンケートデータ

【研究対象者が識別される情報を本研究に用いることについて、研究対象者が拒否する機会の確保】

本研究では、研究対象者が識別される情報は取得しません。ただし、調査を担当する教員は、調査実施前に趣旨説明を行い、「調査への回答は自由意志に基づくものであること」、「回答したくない項目は回答する必要がないこと」、「調査に協力しないことで学校から不利益を被ることは一切ないこと」、「回答済の調査用紙は、個人用封筒に厳封の上で提出すること」、「封筒の開封は学校では行わず、調査実施機関である国立精神・神経医療研究センターで行うこと」等を生徒に口頭で説明します。以上の手続きにより、対象者は、調査への協力を拒否する権利が保障されていると判断しています。

【本研究を実施する研究責任者】

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部

(東京都小平市小川東町四丁目 1 番 1 号)

TEL&FAX : 042-346-1954

研究代表者：嶋根 卓也 (国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部 室長)

研究協力者：猪浦 智史 (国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部 流動研究員)

和田 清 (国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部 客員研究員)

松本 俊彦 (国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部 部長)

【お問い合わせ窓口】 倫理委員会事務局 e-mail : rinri-jimu@ncnp.go.jp

【研究に係る資金と利益相反に関する状況】

本研究は、厚生労働省「平成 30 年度依存症に関する調査研究事業」賄われ、特定の企業からの資金は用いません。従って、本研究は研究者が企業等とは独立して計画し実施するものであり、研究結果及び解析等に影響を及ぼすことはありません。本研究に携わる研究者等は、いずれも利益相反状態にないことを確認しています。